

オリ・パラ「中止・延期」が8割超、聖火リレー「千葉県全区間で中止」なのに…

事前キャンプ、歓迎式典、児童生徒の観戦…前のめり!?

千葉県内・流山市の「まん延防止等重点措置」も延期されるなか、「東京五輪中止」のネット署名は1ヶ月弱で40万人にも。また、7月1〜3日までの千葉県内の聖火リレーに対し、知事は「地域住民の安全安心を最優先に考え、すべての区間で聖火ランナーの走行を中止する」と発言するなど、自治体の姿勢が問われています。

選手の事前キャンプ、宿泊、送迎、警備…業務委託に4300万円余
流山市をホストタウンとして、

ほぼ同額です。

事前キャンプを実施するのはオリンピック種目では、卓球、バドミントン、ハンド

また、歓迎式典も計画されており、人流増加が心配されています。

ボールと、パラリンピック種目では、車いすバスケット、卓球となり、選手・スタッフ合計で60人余を見込み、各選手団が選手村に入るまでをサポートする計画です。宿泊ホテル、練習場までの専用バスでの送迎、警備に加え、コロナ感染を想定し、医療機関までの輸送などを業務委託（近畿日本ツーリスト）しています。経費は4千万円余。これは、ワクチン接種に向けた集団接種会場の設営経費と

さらに、選手・スタッフに加え、選手らと密接に触れ合うホテル従業員、送迎バス運転手、業務委託の対応職員、市職員などは毎日、抗原検査を実施（密接に触れ合わない関係者は4日に1度）。検査キットや検査経費は全額、千葉県が負担します。医療現場からは、「1年間求め続けている医療従事者への検査は拒み続けられています。オリ・パラも、人の命も特別なのに、こんな格差はおかしい」との声が聞かれています。

競技観戦―市内の児童生徒ら1200人超が参加へ

また政府が、オリ・パラ観戦に

す。

児童生徒を動員。市内からは、小中学校8校から、児童・生徒、引率教員含め1253人（市内全児童生徒数17079人（4月1日時点）の7%）が観戦に参加する計画で、約5割が公共交通を利用する計画です。

変異株の拡大への注意、人流を増やさない取り組み…と言われているいま、管内閣の無責任な「動員」こそ大問題です。

学校現場では、行事の中止・延期、規模縮小など子どもも教職員も大変な苦労が続いています。オリ・パラだけは「特別」という扱いでいいのでしょうか。

柏市は6校340人、松戸市は市立高校含め8校、600人余で



流山市議会議員

小田桐たかし